

LOCAL

JR 東 労 組 横 手 運 輸 区 分 会 情 報
発 行 番 号 4 6 号
2 0 1 8 年 5 月 9 日
発 行 責 任 者 小 田 嶋 寛

総対話で認識の一致を図る

5月2日、5日、9日の3日間で総対話を実施し、前回の職場集會に引き続き「秋田地本の見解」の読み合わせをし、新たにスタートを切った東労組の方向性、また労働組合、横手運輸区分会がどうあるべきかを議論しました。それぞれが今思っている事を本音で語り合い、疑問、疑念を解消し、より結束力を高めました。組合員の声より上がった「面談等により、ありもしない悩みをつくり出されてしまう状況」。仮に悩みがあるとすれば、家族、友人、同期、上司、組合役員、個人の判断で最も信頼できる人物に相談し、乗り越えていく術を私たちは社会人として持ち合わせています。悩みを無理にこじ開けることなく、まわりが気づき、気遣うことができるのも、打ち明けてもらうに足る人物であることも普段の人と人との繋がり、信頼があつてこそ。ここまで横手運輸区分会が結束できているのもこれまでの運動を通して培ってきた絆と仲間意識の賜物であり、今後も組合員の立場に立った運動を創り上げていきます。

労使間の取り扱いに関する協約

第1章 総則

第4条 会社は、組合員の正当な組合活動の自由を認め、これにより不利益な扱いをしない。

何かおかしい?と思ったら声を上げていこう!



組合員の声に

基づいた

分会運動を推し進めよう!